

あなたの知らない石の世界

2020年 @山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター
ギャラリートーク 1月12日(日) PM1:00~PM2:30

出演者 金山恭子 学芸員補
 郡山鈴夏 ジオパーク専門員

山陰海岸ジオパーク
 海と大地の自然館
 山陰海岸ジオパーク
 推進協議会

専門的でムズカシイと思われがちな「石」の話を、いつもとは違った切り口と女性2人によるギャラリートーク形式で行った。また、石や地層についてあまりよく知らない人にも聞きやすい内容にし、鳥取砂丘ビジターセンター1階のオープンスペースを会場にすることで、鳥取砂丘を訪れた観光客にも気軽に参加してもらえるようにした。

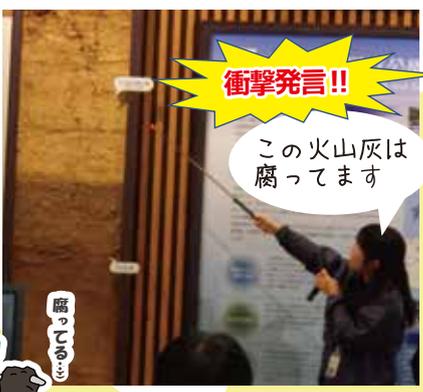


CHAPTER ① 自己紹介

なぜ石の世界にはまったのか？なににそんなにときめくのか？など今まであえて話されなかった2人が「石好き」になったきっかけを紹介。

CHAPTER ② 石を学ぶ(研究する)人たち

【石を学ぶ(研究する)人が使う不可解な用語】や【不可解な行動】【フィールドワークで使う特殊な道具】など聞いてみた



【不可解な用語】

■石が腐る…岩石が「風化」「変質」して本来の姿と変わっていることを指す。

反対語は…フレッシュな石 / 新鮮な石

【フィールドワークで使う道具】

■ハンマー…石を割るために使う道具。石の表面が腐って(風化・変質して)いても、中はフレッシュ(新鮮)かもしれないのでハンマーで割って確認する。(石を観察するには、フレッシュな面が適しているため)
 ※岩石や砂の採取には、特別な許可が必要です。

これも化石(ベレムナイト)

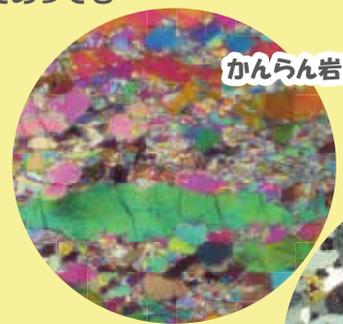


大阪梅田の地下街でアンモナイトの化石を発見!!

【不可解な行動】

■壁や床を見つめる怪しい集団

建物の壁や床に使われている石材、(特に古い建物の)大理石の壁や床には、「化石」が含まれていることがある。化石を学ぶ(研究)する人たちは、たとえ人通りの多い駅やホテルのロビーであってもそれを探さずにいられない…



かんらん岩

薄く削った石を(偏光顕微鏡)のぞくとこんな色に見えます。



かこうがん 花崗岩

鳥取砂丘の砂は花崗岩が風化したものだって

CHAPTER ③ 足もとに広がる色彩豊かな石たち

「この石はどこからきたのか」「どうやってできたのか」石のできた歴史を知るために切って、削って、特別な顕微鏡(偏光顕微鏡)で観察。まるでアート作品のような色彩豊かな石の偏光顕微鏡写真は

【キョウコのときめく石の世界展~足もとに広がる色彩豊かな石たち~】でぜひご覧ください。

- 山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター 1/11(土)~1/30(木)
- 豊岡市立コウノトリ文化館(月曜休) 2/5(水)~2/26(水)
- 新温泉町山陰海岸ジオパーク館(火曜休) 2/28(金)~4/20(月)
- 香美町立ジオパークと海の文化館(水曜休) 4/23(木)~5/10(日)



巡回開催中